

株式会社日本触媒

2011年3月期 第2四半期 決算説明会



2010年11月5日



日本触媒

革新的な技術で新しい価値を提供する化学会社



新長期経営計画「テクノアメニティ2015」 の進捗について



代表取締役社長
近藤忠夫

目次

1. テクノアメニティ2015
 - (1) 企業理念・経営理念
 - (2) 2015年あるべき姿
事業ポートフォリオ
および人と組織の活性化
 - (3) 計画期間の業績推移
および設備投資
2. 2010年度の進捗
 - (1) 業績推定
 - (2) 設備の拡充
3. 各事業の進捗
 - (1) コア事業
SAP事業
アクリル事業
 - (2) 電子情報材料事業
 - (3) 新エネルギー事業

4. 新資本政策
公募増資の概要とねらい
5. 利益還元策
基本姿勢と配当

用語解説

SAP: 高吸水性樹脂

AA: アクリル酸

AES: アクリル酸エステル類

EO: 酸化エチレン

アクリビュア® : 光学材料用アクリル樹脂

NSI: PT.ニッポンシヨクバイ・インドネシア【インドネシア】

NAII: NAインダストリーズ【米国】

AAL: アメリカン・アクリル【米国】

NSE: ニッポンシヨクバイ・ヨーロッパ【ベルギー】

NSC: 日触化工(張家港)有限公司【中国】

SAA: シンガポール・アクリリック【シンガポール】

SGA: シンガポール・グレーシャル・アクリリック【シンガポール】

(1) 企業理念・経営理念

<企業理念> **テクノアメニティ**

～私たちはテクノロジーをもって、
人と社会に豊かさと快適さを提供します

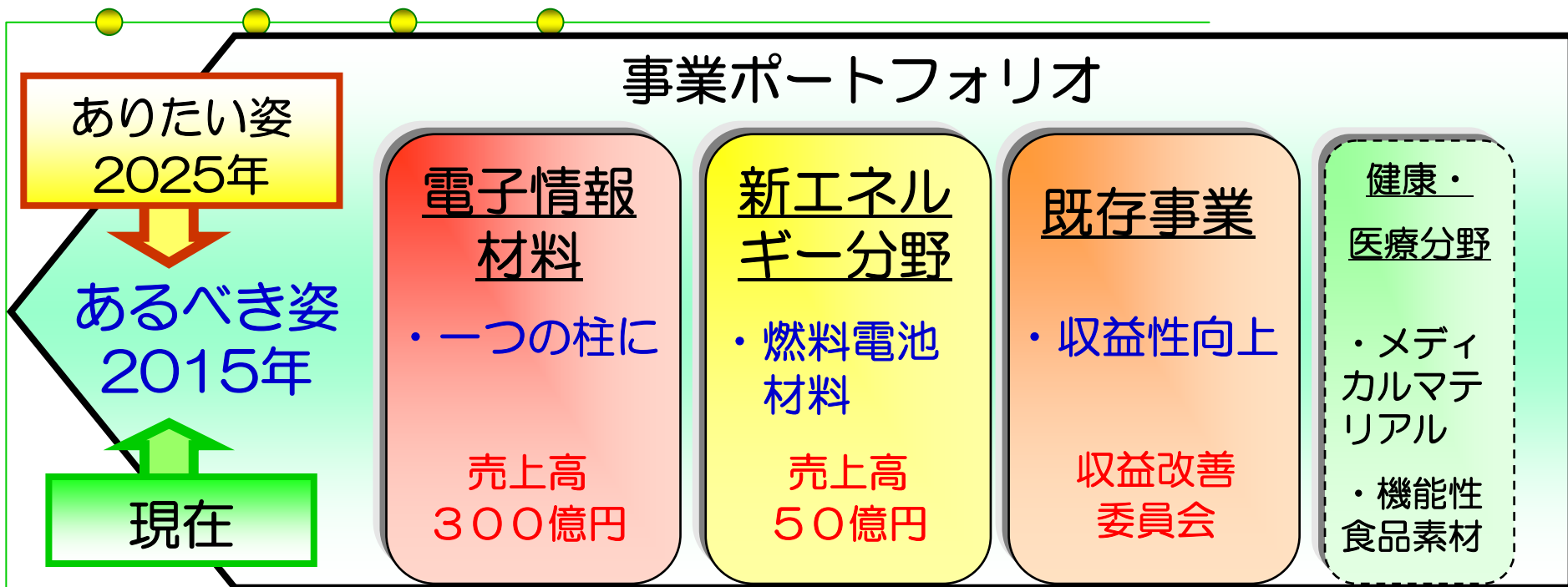
<経営理念>

- ・ 人間性の尊重を基本とします
- ・ 社会との共生、環境との調和を目指します
- ・ 革新的な技術に挑戦します
- ・ 世界を舞台に活動します

<長計スローガン> 未来への挑戦、夢の実現

1. テクノアメニティ2015

(2) 2015年あるべき姿



人と組織の活性化

人材の開発

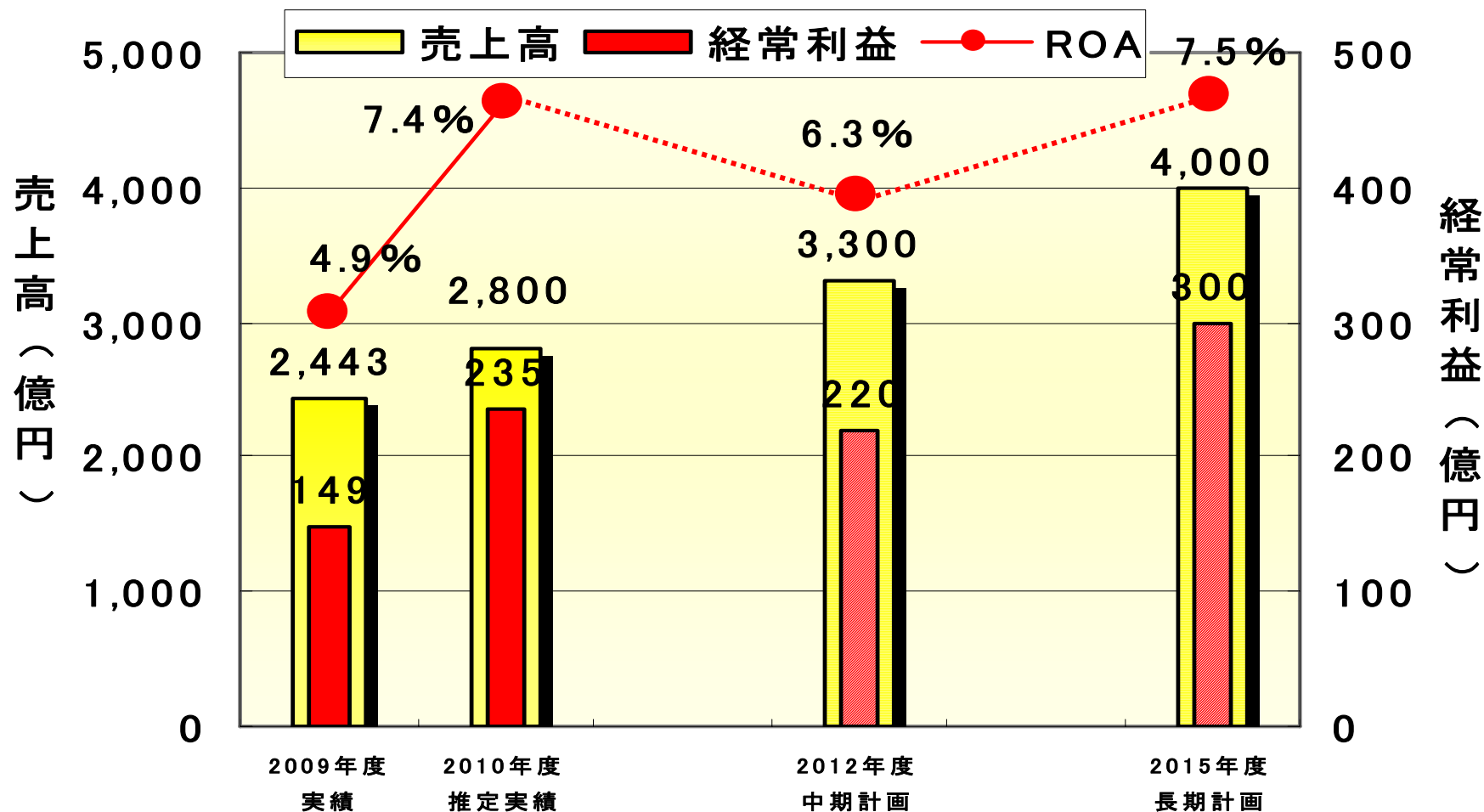
活力ある組織風土の醸成

組織力の強化

グループ経営の明確化・国際化

1. テクノアメニティ2015

(3) 計画期間の業績推移 (2010~2015年度)



6年累計設備投資：1,500億円【含戦略投資（M&A等）300億円】

電材・新工ネ：200億円、AA・SAP：700億円、その他：300億円

2. 2010年度の進捗

(1) 2010年度業績推定

(単位：億円)

区分	項目	2010年度 上期	2010年度 下期	2010年度 通期
中期計画 (期初計画)	売上高	1,300	1,450	2,750
	経常利益	70	100	170
推定実績 (上期実績+ 下期推定)	売上高	1,381	1,419	2,800
	経常利益	134	101	235
差異	売上高	+81	-31	+50
	経常利益	+64	+1	+65

利益増加の要因

1. 原料価格の安定

2. 経費削減の継続

3. 一部製品市況高

4. 旺盛な製品需要

5. 設備能力の増強

スプレッドの安定・拡大

販売・生産数量増

2. 2010年度の進捗

(2) 設備の拡充

実績

EO 7万トン/年増強 川崎製造所
2010年 2月稼働開始

AA 8万トン/年 姫路製造所
2010年 4月稼働開始

SAP 6万トン/年 姫路製造所
2010年 10月稼働開始

技術力

最新技術の
適用

計画通り/前倒し
の完成・稼働開始

需要増加にタイムリー
に対応

立ち上がりから高稼働
収益貢献

進行中

SAP NAII ヒュースト 6万トン/年 (同社チャタングの既存設備とのB&S)
2012年6月稼働予定

- ・AA (AAL) とSAP一体運営による効率化
- ・最新鋭設備への更新による生産性向上

SAP NSI 3万トン/年 (NSIでの新規事業化)
2013年3月稼働予定

- ・AAとSAP一体運営による効率化
- ・SAP生産販売によるNSIの収益安定化

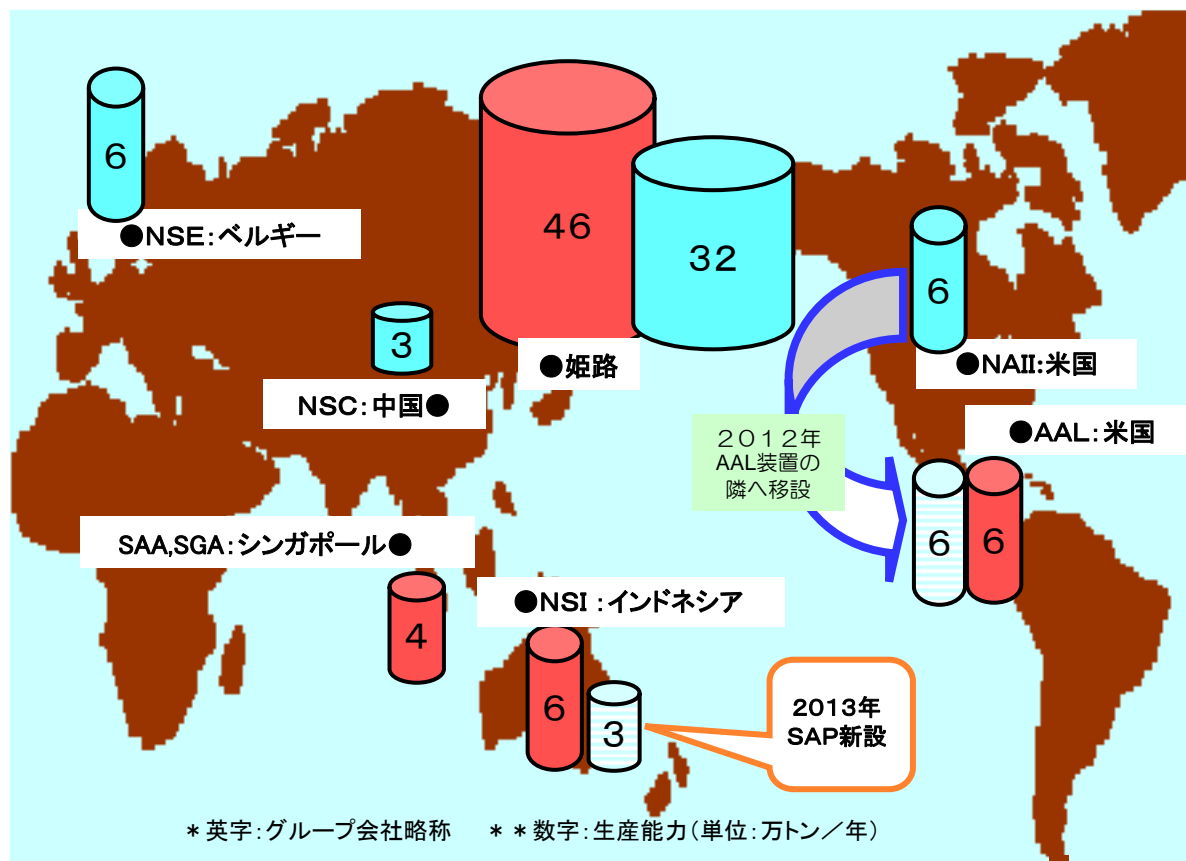
3. 各事業の進捗

(1) コア事業 (アクリル+SAP)

強い事業をより強く

<強み>

- ・ AA、SAP一体化：
コスト競争力
- ・ 世界展開：
安定供給、最適地生産
- ・ 高い市場シェア：
規模の経済、情報
- ・ 高い技術：
コスト競争力、
製品開発力、
製造プロセス改良・改革、
知財戦略



AA生産拠点

SAP生産拠点

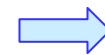
(SAP計画中)

3. 各事業の進捗

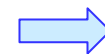
(1) コア事業 (SAP)

トップクラスのシェア維持・向上、収益力確保

需要：2010年前年比7~8%成長
新興国の成長で以降も年5~6%成長
2010年世界需要約160万トン強

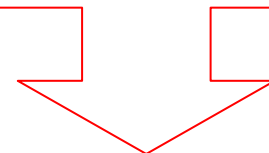


年10万トン
の需要増加



供給：2011年央まで大規模増設は無い

需給は当面タイト



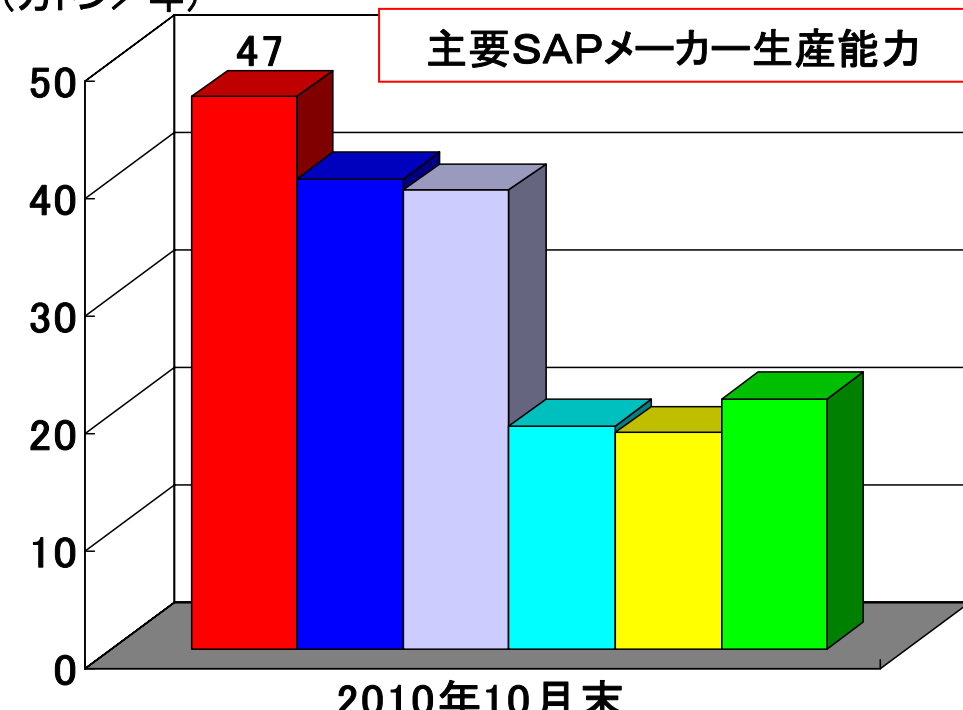
能力増強

既存拠点拡充
新立地探索

(万トン/年)

主要SAPメーカー生産能力

(当社調べ)



3. 各事業の進捗

(1) コア事業 (アクリル)

需要の伸びを捕らえた成長

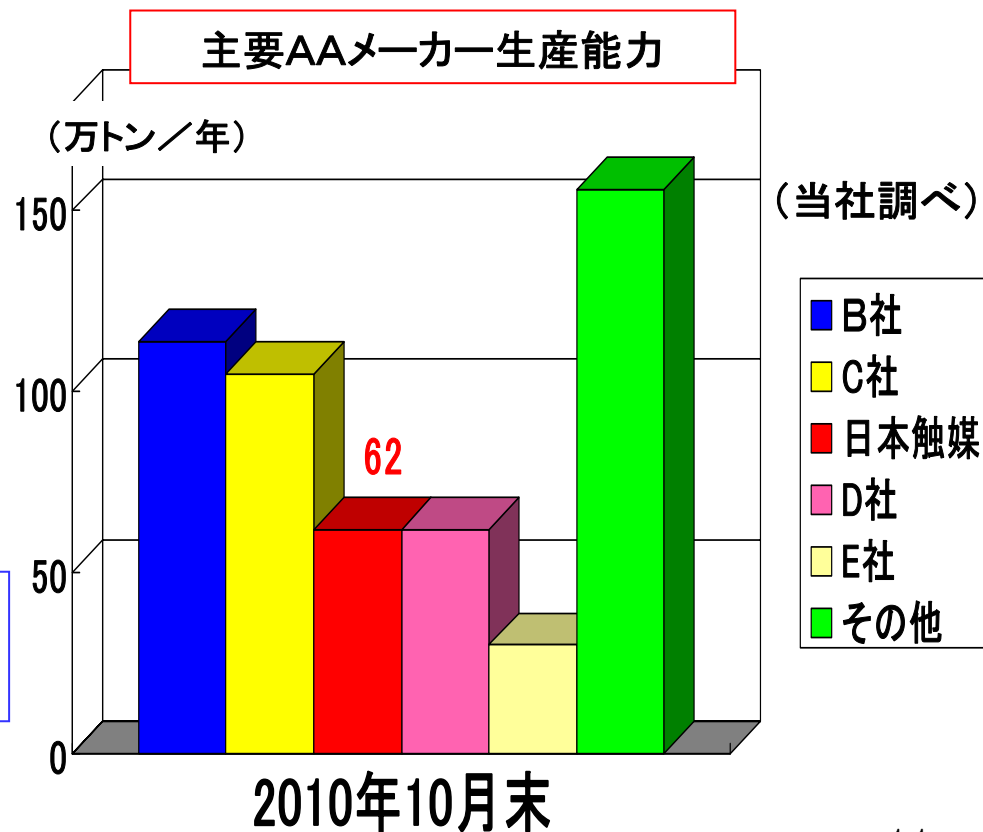
需要：SAP、AESの成長続き年率5%成長
2010年世界需要400万トン

供給：【増設計画】
2011年 約70万トン/年
(中国が大半)
2012年 約30万トン/年

→2011~13年需給軟化を懸念

アクション：

SAP向け自消を中心とした
需要成長を支える生産能力強化



(2) 電子情報材料事業

<強み>

- ・ **キーマテリアル創出力**
モノマー開発も含めたポリマー設計技術
- ・ **顧客ニーズ対応力**
技術スタッフが豊富で多面的アプローチが可能
製品上市の速度・確度向上に寄与

<業績目標>

2010年度 売上高 **100**億円

2015年度 長期計画目標売上高 **300**億円

稼働率向上により更なる収益改善を見込む

(2) 電子情報材料事業

アクリビュア[®]

- ・樹脂： 順調に拡販
- ・フィルム： 既存汎用品と差別化し、
高付加価値品を上市へ



(3) 新エネルギー事業

燃料電池材料（ジルコニアシート・セル）

2010年度 前年度比2倍の出荷で黒字化を想定

2015年度 長期計画目標売上高 50億円

<強み> 触媒製造で培った成型・焼成技術



高品質＋大量生産

- ・ Bloom Energy（米）社向けを中心に販売を拡大
- ・ 製造設備増強：
2011年300万枚／年体制へ



公募増資の概要とねらい

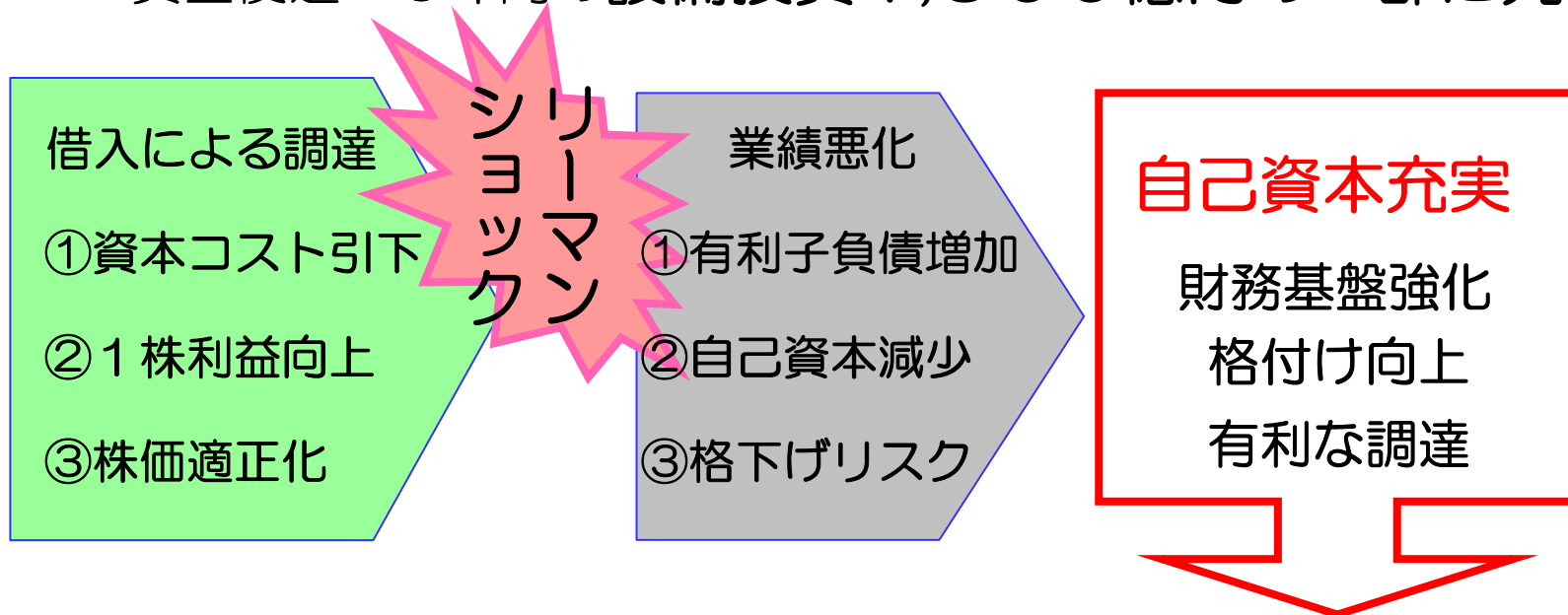
36年ぶりの公募増資

調達金額：170億円

資本金：165 → 250億円

株式数：187 → 212百万株

資金使途：6年間の設備投資1,500億円の一部に充当



「テクノアメニティ2015」の目標達成へ

基本姿勢と配当

企業価値・株主価値の向上

基本姿勢

総還元率*) 40~50%

事業拡大や企業体質強化等を総合的に勘案しつつ、連結業績動向を見通し、中長期的水準向上を目指す

2009年度配当（実績）

当期純利益108億円

14.0円/株

中間：7円、期末：7円

4割強増配

2010年度配当（予想）

当期純利益155億円

20.0円/株

普通配18円、記念配**) 2円

中間：9+1円、期末：9+1円

2010年度配当（期初予想）

当期純利益120億円

16.0円/株

中間：8円、期末：8円

*) 総還元率 = (配当額 + 自社株購入額) / 当期純利益額

**) 姫路製造所開所50周年記念

おことわり

本資料は、投資判断の参考となる情報提供を目的としているものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。また、記載されている内容は、資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した内容を含んでおり、記載された内容を確認したり、保証するものではありません。実際の業績は、様々な要因により、異なる結果となる場合があります。

お問合せ先：

株式会社日本触媒 I R・広報室

東京都千代田区内幸町1-2-2 日比谷ダイビル

TEL： 03-3506-7477

FAX： 03-3506-7598

URL： <http://www.shokubai.co.jp>